

株主のみなさまへ

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

「第123～125期（2023年3月期～2025年3月期）芦森グループ中期経営計画」の中間点を迎え、計画を上回る結果となりました。全社戦略として掲げた“新たな成長軌道への挑戦”として、自動車安全部品分野においては豊田合成株式会社との資本業務提携をさらに強化することとしました。また商品競争力の強化として新シートベルトの開発に取組み中です。パルテム部門においては市場の拡大、競争の激化に対応するための新工法開発を行っています。当社の持っている開発力・技術力を結集し新商品開発につなげてまいります。また企業風土改革を通じた人材育成にも努めてまいります。

第2四半期業績

当第2四半期連結累計期間における売上高は31,182百万円（前年同期比2,095百万円の増収）となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高の結果となりました。損益面も大きく改善し、営業利益は1,085百万円（前年同期比640百万円の増益）、経常利益は1,589百万円（前年同期比420百万円の増益）となり、いずれも第2四半期連結累計期間としては過去最高の結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,294百万円（前年同期比258百万円の増益）となりました。

セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。

自動車安全部品事業

一部の顧客および地域で生産調整の影響がありましたが、円安効果と原材料費の市況変動分の一部を売価に転嫁した結果、シートベルト関連、エアバッグ関連において増収、内装品関連では前年同期並みとなりました。

機能製品事業

パルテム関連は、前年度からの繰越工事高が少なかったことから、当第2四半期連結累計期間では売上高は前年同期を下回りました。

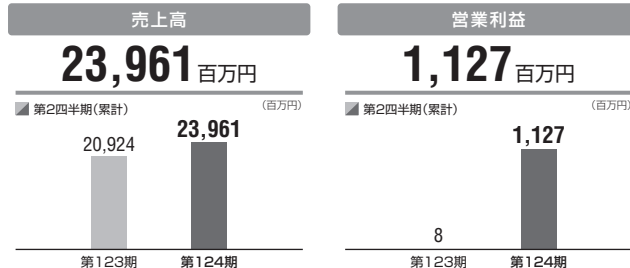
防災関連は、低圧力損失ホースの拡販や石油コンビナート向け大口径ホースの納入により、前年同期比増収となりました。

産業資材関連は、トラック生産の増加に伴い物流省力化分野が回復基調にあります。全体では低調に推移し、前年同期並みの実績となりました。

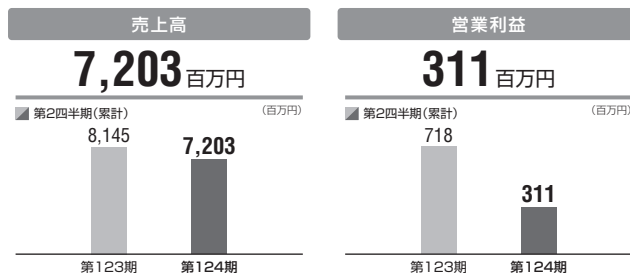
2023年12月

取締役社長 **鷲根 成行**

自動車安全部品事業



機能製品事業



TOPICS～スタンダード市場への市場区分変更のお知らせ

このたび、2023年10月20日付で東京証券取引所プライム市場からスタンダード市場へ市場区分の変更を行いました。

当社業績は中期経営計画を上回り、株価も堅調ですが、プライム市場上場維持基準を充たしておりません。東京証券取引所の規則改正で上場維持基準に抵触した場合に上場廃止となることが明確化され市場再選択の期限が9月29日であったことから、株主の皆様が不安を持つことなく継続して当社株式を保有・売買できる環境を確保することが重要だと判断し、今回の決定に至りました。

今回の市場区分変更は当社の経営方針および中期経営計画に影響を与えるものではなく、市場区分に関わりなく持続的な利益成長と財務基盤の強化により企業価値を向上させ、段階的に株主還元を充実させてまいります。

第124期通期の見通し

第124期の業績見通しにつきましては、売上高68,000百万円、営業利益2,800百万円、経常利益3,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,800百万円と上方修正しております。2022年5月に公表いたしました中期経営計画につきましては、計画どおり進捗しております。

なお、当期の中間配当につきましては、当初の予定どおり見送りとさせていただきます。

各事業の取組みについて

自動車安全部品事業では、豊田合成株式会社との関係を一層強化し、エアバッグ、ハンドルおよびシートベルトを含むセーフティシステム

をトータルで提案・提供できるセーフティシステムサプライヤーを目指し、開発・設計、販売、調達および生産に関する協業をさらに強化・加速させることで、互いの株主、従業員、顧客その他ステークホルダーの利益の最大化を図ることを目指します。

機能製品事業では、甚大化傾向にある自然災害に対する国内の防災・減災意識の高まり、継続中の国土強靱化政策を受けたインフラ強化等から、今後も需要増加が見込まれるため、「総合インフラ防災メーカー」の地位確立に向けて各種施策に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

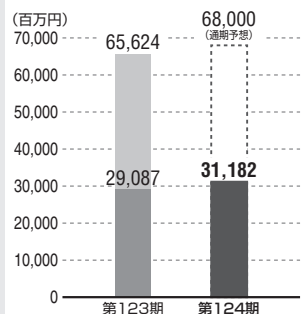
以 上

中間決算ハイライト

売上高

31,182百万円

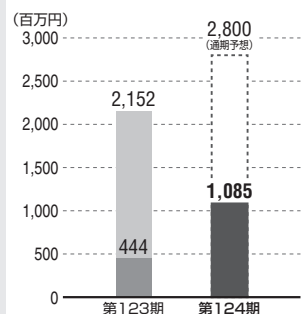
前年同期比
2,095百万円の増収



営業利益

1,085百万円

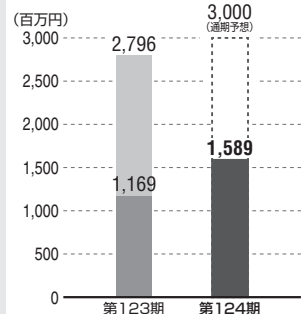
前年同期比
640百万円の増益



経常利益

1,589百万円

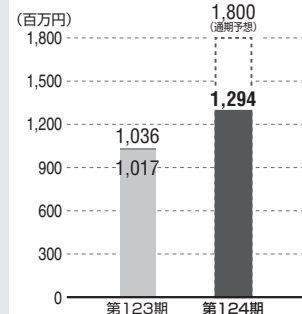
前年同期比
420百万円の増益



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

1,294百万円

前年同期比
258百万円の増益



■第2四半期(累計) □通期

会社の概要 (2023年9月30日現在)

社名	芦森工業株式会社
設立	1935年12月27日
資本金	8,388,681,265円

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	22,000,000株
発行済株式の総数	6,056,939株
株主数	5,185名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間とします。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金受領株主	期末配当金の基準日 3月31日
確定日	中間配当金の基準日 9月30日
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日とします。 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告し、基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社インターネットホームページアドレス https://www.ashimori.co.jp

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 (〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) 0120-094-777

株式上場市場 東京証券取引所 スタンダード市場

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

ASHIMORI

本社：大阪府摂津市千里丘7丁目11番61号
<https://www.ashimori.co.jp>